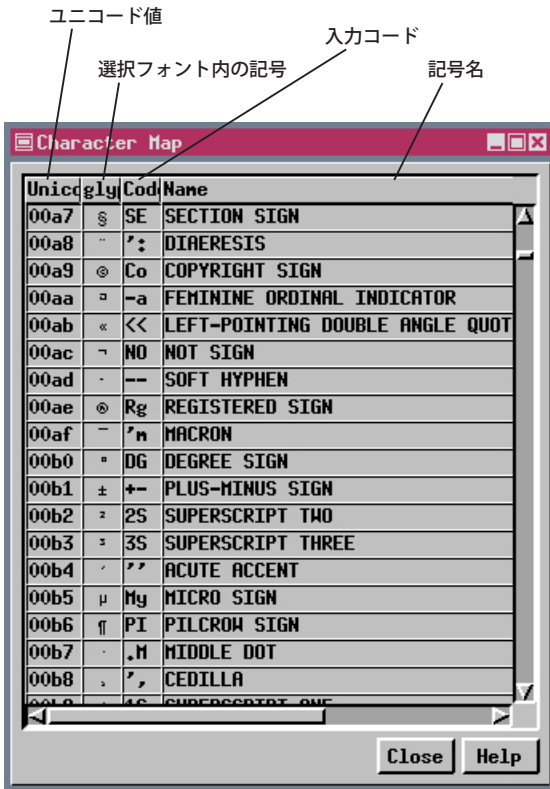


特殊文字の挿入

見た通りに印刷されるかどうかは別として、テキストレイヤや凡例、クエリエディタ、テキストファイルエディタなどのテキスト入力を行う場面で〈文字コード表 (Character Map)〉ウィンドウが使用できます。〈文字コード表〉ウィンドウは、テキスト入力をしているウィンドウの [編集 (Edit)] メニュー



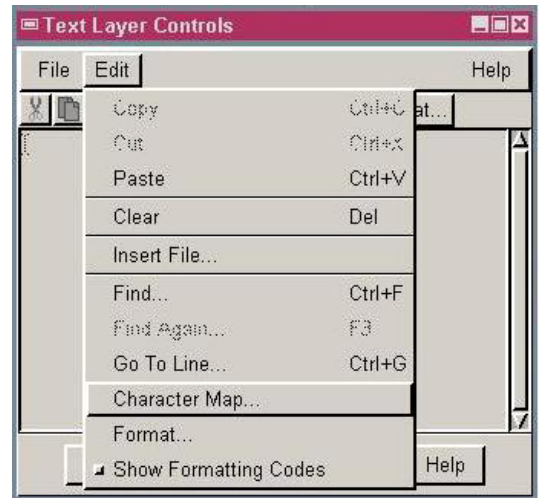
ドウの [編集 (Edit)] メニューもしくはテキストフィールド上で右マウスボタンメニューより開きます。文字入力コードをはじめ全文字に対するユニコードやその他の情報を提供しており、表示されている任意の文字を挿入できます。挿入したい記号のある行の上でダブルクリックすると、カーソル位置に記号を挿入できます。

入力中は〈文字コード表〉ウィンドウを開いたままにしておけるので文字入力中の必要ときに使用できます。よく使う記号があるのなら、その入力コードを覚えてしまえば文字コード表で何度も探す必要がなくなります。文字の行の上でダブルクリックするよりは入力コードを使って、<F2> キーを押して、入力コードを入力して、もう一度 <F2> キーまたは <スペース> キーを押すと、希望する記号がテキストブロック中に入ります。

データベースフィールドにテキストを入力中でも〈文字コード表〉ウィンドウにアクセスできます。フィールド上で右マウスボタンメニューが効くかどうかはカーソルがフィールド内にあるかどうかによります。フィールドの上でクリックして、カーソル位置を確定した後、右マウスボタンメニューを表示します。フィールドの編集に関連した選択肢の中に、文字コード表があります。カーソルがフィールド内にないと、右マウスボタンメニューの選択肢はフィールドのプロパティ (隠す、ソート等) や要素の選択、レコードを要素にアタッチするなどに関連したものになります。〈文字コード表〉ウィンドウを [編集] メニューから使うには、カーソルをフィールド内に置く必要があります。

TNTmpis®, TNTsdk®, TNTview®, TNTatlas®, and TNTlite® are registered trademarks of Microlmages, Inc. Today's estimated high is 72° ± 2°. ☺ ☼ ♣

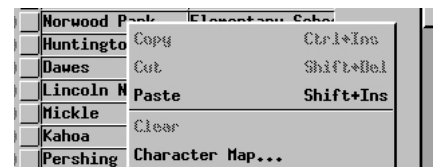
レイアウトからのスクリーンキャチャ



データベースフィールドにテキストを入力中でも〈文字コード表〉ウィンドウを開いたままにしておけるので文字入力中の必要ときに使用できます。よく使う記号があるのなら、その入力コードを覚えてしまえば文字コード表で何度も探す必要がなくなります。文字の行の上でダブルクリックするよりは入力コードを使って、<F2> キーを押して、入力コードを入力して、もう一度 <F2> キーまたは <スペース> キーを押すと、希望する記号がテキストブロック中に入ります。

データベースフィールドにテキストを入力中でも〈文字コード表〉ウィンドウにアクセスできます。フィールド上で右マウスボタンメニューが効くかどうかはカーソルがフィールド内にあるかどうかによります。フィールドの上でクリックして、カーソル位置を確定した後、右マウスボタンメニューを表示します。フィールドの編集に関連した選択肢の中に、文字コード表があります。カーソルがフィールド内にないと、右マウスボタンメニューの選択肢はフィールドのプロパティ (隠す、ソート等) や要素の選択、レコードを要素にアタッチするなどに関連したものになります。〈文字コード表〉ウィンドウを [編集] メニューから使うには、カーソルをフィールド内に置く必要があります。

データベースフィールドにテキストを入力中でも〈文字コード表〉ウィンドウにアクセスできます。フィールド上で右マウスボタンメニューが効くかどうかはカーソルがフィールド内にあるかどうかによります。フィールドの上でクリックして、カーソル位置を確定した後、右マウスボタンメニューを表示します。フィールドの編集に関連した選択肢の中に、文字コード表があります。カーソルがフィールド内にないと、右マウスボタンメニューの選択肢はフィールドのプロパティ (隠す、ソート等) や要素の選択、レコードを要素にアタッチするなどに関連したものになります。〈文字コード表〉ウィンドウを [編集] メニューから使うには、カーソルをフィールド内に置く必要があります。



テキストフィールド内にカーソルがある時の右マウスボタンメニュー

テキストフィールド内にカーソルがない時の右マウスボタンメニュー

